

令和5年度 第1回 ACP 作業部会議事録

日時：令和5年5月24日（水）

午後2時～午後3時

場所：さくら庁舎36会議室

会長挨拶

令和5年度第1回のACP作業部会となる。昨年度の作業部会で頂いたご意見の集約と今年度取り組む内容について話し合いたいと思う。わたしノートの周知啓発や、専門職のためのACPマニュアルの活用推進について、皆様からのご意見を踏まえ内容を考えていきたいと思うので本年もよろしくお願ひします。

事務局より

メンバーの追加があるため、全員自己紹介を頂く。

1. 看取り体制支援プラン説明 資料①

事務局) 資料①に沿って説明。

2. 令和4年度 ACP 作業部会意見集約 資料②

前年度の意見を資料②に集約した。事務局としては①～④を実践していけたらと考えているが、作業部会の皆様にもご意見を伺いたい。

- ・ 訪看ネットではまちかど講座に同行し医療用語の説明を考えている。

→保健福祉部会ではまちかど講座で市民向け説明用シナリオを作成した。その中に出てくる医療用語で人工呼吸器、栄養、透析については包括支援センターの保健師が作成しており、訪問看護師が時間を割いてまで同行しなくてもいいのではないか。講演者アンケートにより、医療用語が分かりにくい等の意見が出た際にアドバイス頂くなど方法を考えてはどうか。

- ・ 安心塾でACPマニュアルの実践について各事業所で事例をあげて医師会と共有する。

- ・ 社協での福祉学習の講座の依頼があり、今年度からACPについて行う予定。

- ・ 学校保健委員会でも取り上げており学校の先生やPTAにも啓発していく。

- ・ 院内で急性期病棟や小児の看護師に勉強会を開催予定。

- ・ 病院の入退院支援センターにわたしノートを設置し、興味のある方に手にとって

頂くように努めている。

- ・要介護者状態になった方に対し、わたしノートの記入は難しい現状がある。
ACPに興味がある人は講座に行くが広く普及するために、例えば介護保険加入の65歳のタイミングでノートを配布してはどうか。(市の予算によるが)
- ・救急車を呼ぶとはどういうことか、救急医療について周知する。

広報掲載について 資料③

資料③は令和2年度広報あじょう3月号掲載の内容である。今年度も1ページ分の掲載許可を頂いている。8月が原稿の校了締め切りなので7月中には内容をまとめる必要がある。広報で取り組みを紹介したい事業所は事務局まで連絡頂く。

3. 研修協力依頼 (エンドオブライフ・ケア研修会)

ファシリテーター依頼

→了承していただいた。

4. エンドオブライフ・ケア研修会にて実施 (案) について意見交換 資料④

内容については承認頂いた。

反省会開催について

第2回 ACP 作業部会開催の日程とも関連するが、研修後に反省会という形を持った方良いかについて伺いたい。

- ・反省会はあった方がよい。
- ・新型コロナウイルス感染症流行前は研修会終了後、参加者にて親睦会を行っていた。
反省会という形でなく懇親会という形で開催してもよいのでは？
- ・研修会に参加できない場合はどうするか等検討する必要がある。
- ・次回開催という点では12月ではなく、プチプロジェクトのアンケートの結果がそろいのを考えると1月頃がいい。改定をするかなどの検討にアンケートの結果があった方がいいのでは。

次回開催日については事務局で再検討する。

5. その他

- ・自治体等における普及啓発事例 (冊子)

次回開催日 令和6年1月頃 決まり次第プロジェクトにて連絡する。